

## 第4章 具体的施策の展開

### 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

#### (1) 栄養・食生活分野

##### 【推進方針】

- 適切な健康・栄養情報の提供
- ライフステージに応じた食生活改善の推進
- 食生活改善のための環境整備

##### 【県の取組】

- 「減塩マイナス3g」、「野菜摂取350g」を推進します。
- おいしい減塩食を普及する「うま塩プロジェクト」や「まず野菜、もっと野菜」運動を推進します。
- 教育庁と連携した「うま塩給食の日」の取組を通じて、学校給食でのうま塩メニューの活用や保護者への啓発を図ります。
- 生涯健康「元気な食卓」推進事業により地域に応じた食生活改善の取組を推進します。
- 健康応援団(食の環境整備部門)及びうま塩メニュー提供店の登録増加による食環境の整備を図ります。
- 健康応援団登録店等を通じた健康情報の提供を行います。
- 一人ひとりが食育の「6つの力(食べ物を選ぶ力/地域素材や旬の味がわかる力/地域の食文化を活かした料理ができる力/食べ物のいのちを感じる力/元気な体がわかる力/食卓でマナーを学ぶ力)」を身につけていけるよう食育事業を推進します。(生活環境部)
- おおいた食育人材バンク登録者の増加により食育の浸透を図ります。(生活環境部)
- 県産品(かぼす、しいたけ等)を活用して、減塩や野菜・果物摂取の増加に取り組みます。(農林水産部)

##### 【関係団体の取組】

##### 〈大分県商工会議所女性会連合会〉

- 生活習慣病の改善と予防に向けた講習会や研修会を開催し、食生活を見直す機会を提供します。
- 定期受診を勧め栄養や健康状態の改善に努めます。

##### 〈大分県商工会女性部連合会〉

- 食への関心を高めるため、地元食材を活用した料理教室(魚のさばき方等)を商工会地域全域で実施します。

##### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 健康に留意したメニューの開発や組合員向けに栄養計算を行うサービスを提供し、栄養表示を行うお店を増やします。

#### 〈大分県看護協会〉

- 研修中に販売する弁当を健康に配慮した弁当（ヘルシー、栄養表示）にします。
- 栄養管理の知識や指導方法等の研修を充実させ、受講者数を増やします。
- 健康づくりのイベント等で実施する「まちの保健室」の開催回数と参加者を増やします。
- 地域の健康教室「げんき教室」の内容を充実させ、参加者を増やします。

#### 〈大分県栄養士会〉

- 食に関する適切な情報提供や相談が行えるように、研修会や栄養相談等を継続的に実施します。
- 会員向け研修会（生涯教育、調理研修会、スポーツ栄養研究会等）を充実させ、資質の向上を図ります。
- 高齢者の低栄養予防のため、地域包括支援センター等と連携した在宅訪問栄養指導や地域ケア会議への継続した取組を行います。
- 災害時における栄養・食生活支援を充実させるため、研修会やJDA-DATリーダーの育成を継続的に実施します。

#### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- 妊婦から高齢者までライフステージに応じた食育事業（離乳食教室、食事指導等）を充実させ、参加者の増加に努めます。
- 広報誌やカレンダー等を通じて、住民に対し広く栄養・食生活に関する情報提供を行います。

#### 〈全国健康保険協会大分支部〉

- 協会けんぽ加入事業所に対し、健康レシピや減塩の取組事例を情報提供し、一社一健康宣言事業所及び健康づくりの実践事業所の増加に努めます。
- 生活習慣病のリスクがある加入者に対して栄養指導等を行うとともに、特定保健指導実施率の向上に努めます。

#### 〈健康保険組合連合会大分県連合会〉

- 職場の健康づくりのために、セミナーの開催やダイエットチャレンジを実施し、バランスの良い食事に留意する人を増やします。
- 食事の最初に野菜を食べる「ベジファースト」の啓発を行い野菜摂取量の増加に努めます。
- 社員食堂でヘルシーメニューを継続的に提供し利用者を増やします。

#### 〈大分県食生活改善推進協議会〉

- 生涯健康「元気な食卓」推進事業による減塩、野菜摂取、果物の適量摂取等、食生活改善の取組を継続的に実施します。
- 栄養教室等の機会を通じて「うま塩メニュー」を活用した美味しい減塩食の普及を行います。
- 市町村との連携を図りながら、地域の栄養・食生活の課題解決のため、子どもから高齢者に対する食育を推進します。

#### 〈大分県生活学校運動推進協議会〉

- 食生活の見直しのため健康マップの作成・普及を図り、会員の達成度を確認します。

## 【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
学習	1	弁当や総菜を入手する時、カロリーなど栄養成分の表示を参考に する者の割合（男性）	29.6%	40.0%
	2	弁当や総菜を入手する時、カロリーなど栄養成分の表示を参考に する者の割合（女性）	49.4%	60.0%
地域資源等	3	健康応援団登録数	457 店舗	700 店舗
	4	食生活改善推進員数	2,467 人	3,000 人
	5	おおいた食育人材バンク登録数	86 個人・団体	103 個人・団体
生活習慣 ・行動	6	食塩の摂取量（男性）	10.4g	8.0g
	7	食塩の摂取量（女性）	8.8g	7.0g
	8	野菜の摂取量（男性）	300g	350g
	9	野菜の摂取量（女性）	263g	
	10	果物の摂取量が 100g 未満の者の割合（男性）	71.1%	35.0%
	11	果物の摂取量が 100g 未満の者の割合（女性）	67.7%	
	12	夕食後に間食をとることが週に 3 回以上ある者の割合 (20 歳～40 歳代男性)	26.3%	20.0%
	13	夕食後に間食をとることが週に 3 回以上ある者の割合 (20 歳～50 歳代女性)	28.5%	
	14	朝食を毎日食べている子どもの割合 (小学校 5 年生)	89.7%	98.0%
	15	朝食を毎日食べている子どもの割合 (中学校 2 年生)	89.2%	96.0%
16	朝食を毎日食べている子どもの割合 (高校 1 年生)	90.2%	94.0%	
健康	17	男性の肥満者の割合（20～69 歳）	30.2%	25.0%
	18	女性の肥満者の割合（40～69 歳）	21.0%	20.0%
	19	女性のやせの者の割合（20～29 歳）	15.4%	10.0%

うま塩プロジェクトとは



産学官が連携して「旨み」を持つ県産の食材を「上手く」活用し「美味しい」塩分控え目の食事を外食・中食・家庭食に普及させる取組です。

外食 (うま塩提供店)



(平成30年3月末)

中食 (うま塩弁当・惣菜)



家庭食



うま塩メニュー (中食・家庭食) の開発



教育機関(大学、専門学校)、健康寿命日本一おうえん企業(メーカー)と連携し、メニューコンテスト(学生部門、プロ部門)及びうま塩の手法検討会を実施



- ・優秀作品を「商品化」(うま塩弁当)し、量販店で販売
- ・優秀作品を「レシピ集」作成、県庁HPに掲載



## (2) 身体活動・運動分野

### 【推進方針】

- 健康づくりのための運動の推進
- 健康づくりのための運動環境の整備

### 【県の取組】

- 「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間（10月）を中心に、日常生活を積極的に過ごすことの必要性や運動の効用について、広く県民に情報提供を行います。
- 日常生活における歩行数の増加にむけて、健康アプリ「あるとつくおおいた歩得」の普及促進を図ります。
- 特に働く世代のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）解消に向けた運動習慣の定着を目指します。
- ロコモティブシンドローム（加齢による運動器症候群）やフレイル（高齢者の虚弱）の正しい認知度を高め、生活体力の維持向上を図ります。
- 高齢者の自立支援に向けて、リハビリテーション専門職等を活かした、運動機能向上や栄養改善、口腔機能向上等の介護予防に資する取組を積極的に推進します。
- 各種スポーツイベントへの積極的な参加の促進や、日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会を確保するとともに、世代を超えた交流を図ります。
- 農業文化公園や県民の森など公共施設における健康増進イベント等の充実を図ります。（農林水産部）
- 子どもの頃から運動やスポーツに親しむ機会の増加を図ります。（教育庁）
- 総合型地域スポーツクラブ等と連携し、気軽に取り組める運動プログラムの実施や指導者の育成を図ります。（教育庁）
- スポーツ医科学の知見を活用し、発育発達段階に応じた運動の提供を目指します。（教育庁）

### 【関係団体の取組】

#### 〈大分県立看護科学大学〉

- 大分県標準介護予防運動の研究開発及び普及を行い県民の健康増進に努めます。
- 市町村と連携して、健康推進員の育成及びフォローアップを行います（50人以上/年）。
- 地域高齢者を対象とした転倒予防等の健康教室を開催します（5回以上/年）。
- 行政等と連携して、地域のイベントで学生とともに健康・体力チェックを実施します（2,000人以上/年）。
- 大分県スポーツ学会に協力して、救護ナースを養成するとともに、県内のスポーツ大会に派遣し、県民のスポーツ活動をサポートします（100人以上/年派遣）。
- 大分県スポーツ学会に協力して、フォーラムの開催や「スポーツおおいた」の刊行を行うとともにスポーツ科学及びスポーツ文化の啓発に努めます。
- 大分県スポーツ学会に協力して、メディカルマネージャーを養成し（10人以上/年）、児童・生徒のスポーツ障がいの予防を推進します。
- 職員を対象としたウォークラリーや身体活動量の測定評価を実施し、全職員の40%以上の参加を目指します。
- 地域の体育祭やスポーツ大会等を学生とともに支援します（各5回以上）。
- 健康寿命の延伸を目指した研究・開発を行うとともに学会で取組を発表します。
- 厚生労働省のスマートライフプロジェクトのメンバーとして県内の活動の取組を支援します。

#### 〈大分県商工会議所女性会連合会〉

- ロコモティブシンドロームや認知症の予防をテーマとした講習会や研修会を開催し、運動習慣の定着に向けた機会を提供します。
- 職場ぐるみの運動を取り入れ、健康経営事業所への登録を推進します。

#### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 組合員並びに従業員、家族を対象にした組合レクリエーションを充実させ、参加人数を増やします。

#### 〈大分県医師会〉

- みんなで歩こうデーを開催し、運動に取り組む機会を提供します。

#### 〈大分県看護協会〉

- 職場における朝のラジオ体操やウォーキングの実施に努め参加者を増やします。
- 会員の福利厚生に運動施設の割引特典を追加し、運動しやすい環境づくりに努めます。
- 地域の健康教室「げんき教室」において毎回運動を取り入れ、参加者を増やします。

#### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- 特定保健指導や介護予防運動教室等を通じて、継続的に運動実践や学習する機会を提供し、参加者の増加に努めます。
- 運動を中心とした健康づくりを普及・啓発する推進員等を養成し、住民の健康づくりを支援するとともに、運動教室の参加者の増加に努めます。
- チャレンジデーやウォーキング大会等、地域の状況に応じて運動習慣の定着を目的としたイベントを継続して実施します。

#### 〈全国健康保険協会大分支部〉

- 職場で取り組める健康づくり事例や県下の健康イベントの情報を提供し、一社一健康宣言事業所及び健康づくりの実践事業所の増加に努めます。
- 生活習慣病のリスクがある加入者に対して運動指導等を行うとともに特定保健指導実施率の向上に努めます。

#### 〈健康保険組合連合会大分県連合会〉

- セミナーの開催やダイエットチャレンジ、ウォーキング大会等を実施し、定期的な運動習慣の定着化につなげます。
- 60歳以上の被保険者に対し、ロコモティブシンドローム予防等の情報提供を行います。

#### 〈大分県食生活改善推進協議会〉

- 栄養教室等の機会を通じて、ロコモティブシンドローム予防等の運動を取り入れます。

#### 〈NPO法人日本健康運動指導士会大分県支部〉

- 地域や学校、事業所等での健康教室やイベントを通じて県民の体力維持及び向上を図るとともに、計画の周知を行います。
- 個々人の年齢や体の状態に合わせて、楽しみながら運動を継続できるように指導します。
- ロコモティブシンドローム及びフレイルの認知度の向上を図ります。
- 健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質の向上のため会員向けの研修会を開催し、専門性を高めます。

〈大分県生活学校運動推進協議会〉

- 地域行事にウォーキングを取り入れ、軽スポーツの参加者の増加に努めます。また、チェック表の作成により運動の定着化を図ります。

【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
学習	1	自分の体力にあった運動の指導を受けた者の割合 (成人男性)	12.3%	23.0%
	2	自分の体力にあった運動の指導を受けた者の割合 (成人女性)	17.9%	26.0%
	3	ロコモティブシンドローム（加齢による運動器症候群）の 認知度	35.9%	80.0%
地域資源等	4	一緒に運動する仲間がいる者の割合	40.1%	60.0%
	5	安全に歩ける歩道や施設が身近にある者の割合	75.2%	80.0%
生活習慣 ・行動	6	日常生活における1日平均歩数（20～64歳男性）	7,617歩	9,500歩
	7	日常生活における1日平均歩数（20～64歳女性）	6,881歩	9,000歩
	8	日常生活における1日平均歩数（65歳～男性）	5,341歩	7,500歩
	9	日常生活における1日平均歩数（65歳～女性）	4,936歩	6,500歩
	10	1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上 実施している者の割合（男性）	41.2%	56.0%
	11	1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上 実施している者の割合（女性）	32.3%	50.0%
	12	ほぼ同じ年代の同性と比較して速く歩く者の割合 (20～69歳男性)	56.4%	60.0%
	13	ほぼ同じ年代の同性と比較して速く歩く者の割合 (20～69歳女性)	47.7%	50.0%
	14	歩数計などを使用して歩数を測っている者の割合	25.7%	35.0%
	15	地域介護予防教室への参加者の割合 (介護予防の推進)	17.8%	20.0%
	16	豊の国ねりんピックの参加者数 (生涯スポーツの推進)	5,761人	5,900人
	17	農業文化公園及び県民の森における運動に取り組む者の数	16,945人	18,000人
	18	運動が好きな児童・生徒の割合	(小学校5年生) 男 79.0% 女 83.3%	(小学校5年生) 81.0%
	19		(中学校2年生) 男 78.2% 女 89.1%	(中学校2年生) 84.0%
	20	成人の週1回以上のスポーツ実施率	40.5%	54.8%

### (3) 休養・こころの健康分野

#### 【推進方針】

- こころの健康づくりのための正しい知識の普及
- こころの健康づくりのための支援するためのサポート体制の整備・充実

#### 【県の取組】

- 自殺やうつ病等の精神疾患について、正しい知識の普及啓発を行います。
- 職場におけるメンタルヘルス対策として、労使に対し安全衛生等関連法令の普及・啓発に努めます。(商工労働部)
- 地域・職域連携推進協議会や健康経営事業所パワーアップ事業通じて、職場のメンタルヘルス対策を推進します。
- こころの健康を支援する環境の整備とこころの健康づくりを推進します。
- 地域における相談体制の充実をはかり、相談窓口情報の周知を行います。
- ストレス解消のための趣味やスポーツ、ボランティア活動などを支援します。
- こころの健康に関する専門職種の資質の向上を図ります。

#### 【関係団体の取組】

##### 〈大分県立看護科学大学〉

- 行政と連携して開発した「森のセラピーコース」や「森林セラピーロード」の企画に協力します。

##### 〈大分県商工会議所女性会連合会〉

- メンタルヘルスのセルフケアやストレスとの上手な付き合い方等をテーマとした講習会や研修会を開催し、ストレス低減と休養確保による健康増進に努めます。

##### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 組合員並びに従業員、家族を対象のレクリエーションを充実させ参加人数を増やします。
- ワークライフバランスへの取組促進のために、週休2日を取り入れる店の増加に努めます。

##### 〈大分県看護協会〉

- 早期退職の防止を図るため、ホームページで簡単にストレスチェックができる体制づくりを推進します。
- ストレスチェック実施者の養成研修など、看護職対象の研修を充実させます。
- 地域の健康教室「げんき教室」において心の健康を取り入れ、参加者を増やします。

##### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- 地域住民に対し、パンフレットの配布や広報誌、ケーブルテレビ等にて周知や啓発に関する取組を強化します。
- 精神障がい当事者や家族などを対象とした電話や来所による相談を随時実施します。

##### 〈健康保険組合連合会大分県連合会〉

- 職員に対しストレスチェックの実施や新人役職者を対象に「メンタルヘルス研修」を行います。



**〈大分県生活学校運動推進協議会〉**

- 睡眠やストレス解消方法等についての研修や情報交換を行う場を増やします。

**〈大分労働局〉**

- メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合 80%以上を目標に、集団指導等の各種機会を通じて、事業場におけるストレスチェック制度等の周知啓発・指導を行います。

**【各指標の現状と目標】**

指標種別	No.	項目	現状	目標値
地域資源等	1	ストレスや悩みの相談をしたい時、相談できる者の割合 (40歳以上男性)	62.3%	70.0%
生活習慣 ・行動	2	睡眠で十分な休養がとれている者の割合	80.7%	85.0%
	3	6時間以上睡眠がとれている者の割合 (30歳代男性)	59.0%	65.0%
	4	6時間以上睡眠がとれている者の割合 (40歳代女性)	46.8%	55.0%
	5	趣味やボランティア活動など「心の張り」を持っている者の割合	59.5%	70.0%
	6	不満、悩み、苦勞、ストレスなどを処理できている者の割合 (20～50歳代男性)	70.7%	70.0%
	7	不満、悩み、苦勞、ストレスなどを処理できている者の割合 (20～50歳代女性)	70.8%	
健康	8	自殺者数 (人口10万対)	16.9	14.2

#### (4) 喫煙分野

##### 【推進方針】

- たばこの健康影響に関する情報の提供
- 受動喫煙防止対策の推進
- 禁煙支援の体制整備
- 未成年者への喫煙防止教育の実施

##### 【県の取組】

- 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心とした禁煙や受動喫煙防止について、普及啓発を行います。
- 健康応援団（たばこの環境整備部門）の登録増加に努めます。
- 健康経営事業所における受動喫煙防止や禁煙対策の推進に向けて支援します。
- 禁煙支援従事者研修会を開催し、最新情報の周知や支援技術の向上に努めます。
- 未成年者に対しては、地域や学校で発達段階に応じた喫煙防止教育に取り組みます。（教育庁）

##### 【関係団体の取組】

###### 〈大分県立看護科学大学〉

- 学生への喫煙実態調査の実施や保健室での禁煙相談等を通じて、学生の喫煙者を減らします。
- 世界禁煙デーの期間に禁煙の啓発を強化します。
- 大学敷地内全面禁煙や新入生夏季健康教育の実施により、学生の喫煙者を減らします。

###### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 飲食店における受動喫煙防止への取組を推進するとともに、厨房内や休憩室の禁煙にも努めます。

###### 〈大分県タクシー協会〉

- タクシー車内の禁煙を引き続き徹底します。
- タクシードライバーの禁煙にむけて、情報提供や学習の機会を設けます。

###### 〈大分県医師会〉

- たばこの煙による健康被害を防ぐため、受動喫煙の防止対策を強化・実現のための署名活動を行います。

###### 〈大分県薬剤師会〉

- 禁煙支援薬剤師制度の構築を図り、研修並びに育成を推進し、禁煙支援薬剤師を増やします。
- 未成年者への喫煙防止教育の機会を増やします。
- 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心とした禁煙、受動喫煙防止対策の普及啓発を行います。

**〈大分県看護協会〉**

- 来館者への敷地内禁煙の広報の継続し、敷地内禁煙 100%を目指します。
- 看護職への禁煙指導を行います。
- 妊婦の禁煙指導を強化し、妊婦の喫煙率の減少に努めます。
- 新人看護職員研修に「たばこの害と禁煙指導」を取り入れ、受講者の喫煙率の減少に努めます。
- まちの保健室やげんき教室等で喫煙防止に関する広報を強化します。

**〈大分県市町村保健活動研究協議会〉**

- 街頭キャンペーンやケーブルテレビ等を活用し、禁煙や受動喫煙防止についての広報活動を行います。なかでも、妊婦やプレパパ、プレママに対しては、一層強化します。
- 未成年者の喫煙防止対策として、小中学校での喫煙防止教育に取り組みます。
- 特定保健指導等の保健事業の際や市町村ホームページを活用し、禁煙外来や禁煙指導薬局の情報提供に努めます。

**〈全国健康保険協会大分支部〉**

- 禁煙指導を実施し、肺がん等の発症リスクの減少に努めます。

**〈健康保険組合連合会大分県連合会〉**

- 禁煙チャレンジ（禁煙外来での禁煙支援）を実施し、現在の喫煙率から 30%減少を目指します。
- 寮の建物内禁煙を実施します。
- 被保険者を対象にたばこについてのアンケートを実施し、喫煙対策に取り組みます。

**〈大分県食生活改善推進協議会〉**

- 栄養教室等の機会を通じて、健康に過ごすための情報提供や啓発活動に協力します。

**〈大分県生活学校運動推進協議会〉**

- 飲食店における受動喫煙防止への取組を推進するとともに、厨房内や休憩室の禁煙にも努めます。

**〈大分労働局〉**

- 集団指導等の各種機会を通じた周知啓発や助成金・相談等支援事業の利用勧奨を図り、受動喫煙防止対策に取り組む事業場を増やします。

【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
学習	1	COPD の認知度	45.9%	80.0%
生活習慣 ・行動	2	成人男性喫煙率 (やめようと思う者 54.6%)→H28 44.5%	32.6%	18.1%
	3	成人女性喫煙率 (やめようと思う者 57.6%)→H28 57.4%	8.1%	3.5%
	4	成人全体喫煙率 (やめようと思う者 55.2%)→H28 47.3%	19.6%	10.3%
	5	未成年者の喫煙割合	1.1%	0%
	6	妊娠中の喫煙割合	4.8%	0%
QOL	7	たばこの煙で不快な思いをする者の割合	60.3%	50.0%

COPD (慢性閉塞性肺疾患)



COPD は一つの病気ではなく、慢性気管支炎、肺気腫(はいきしゅ)、びまん性汎細気管支炎など、長期にわたり気道が閉塞状態になる病気の総称です。

COPD を引き起こす主な原因は喫煙で、肺機能は加齢とともに、低下していきませんが、喫煙が加わると急速に低下が進み発症するといわれています。その他、ウイルスや細菌などの感染などもあります。

階段の上り下りなど体を動かしたときに息切れを感じたり、風邪でもないのにせきやたんが続いたりするのが COPD の主な症状です。

## (5) 飲酒分野

### 【推進方針】

- 適正飲酒やアルコール関連疾患についての正しい知識の普及
- 未成年者の飲酒防止の推進
- アルコール関連問題に対するサポート体制の整備・充実
- アルコール依存者に対するアルコール問題からの回復支援

### 【県の取組】

- アルコール関連問題啓発週間を中心に関係機関と連携し、正しい知識の普及啓発を図ります。
- 健康経営事業所等の職域に対し、飲酒が及ぼす影響等について啓発を図ります。
- 市町村での母子健康手帳交付時や産科医療機関での妊婦健診等において、飲酒が胎児に及ぼす影響等について、啓発を図ります。
- 学校教育やPTAの研修等を通じて、未成年者の飲酒防止に努めます。(教育庁)
- アルコール健康障がいにかかる相談拠点の明確化や地域の専門医療機関の整備に努めるとともに、ホームページやリーフレット等を活用し、広く周知を図ります。
- 回復者の体験談や、回復事例を紹介すること等により回復支援における自助グループの役割等を啓発します。

### 【関係団体の取組】

#### 〈大分県立看護科学大学〉

- 新入生夏季健康教育にて飲酒と健康被害、アルコールハラスメント、急性アルコール中毒について指導します。
- アルコールパッチテストの実施や未成年者飲酒の禁止、適量飲酒の啓発に努めます。

#### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- アルコールの依存症に関する情報を組合店に周知し、利用客の過度の飲酒を防止します。

#### 〈大分県看護協会〉

- まちの保健室やげんき教室等で適正飲酒に関する広報を強化します。

#### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- アルコールなどの嗜癖相談の実施や飲酒の適正量の普及啓発を行います。

#### 〈健康保険組合連合会大分県連合会〉

- 職場における適正飲酒の普及啓発を行います。

【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
生活習慣 ・行動	1	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（1日当たりの純アルコール摂取量 40g 以上の男性）	14.9%	13.3%
	2	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（1日当たりの純アルコール摂取量 20g 以上の女性）	12.6%	11.3%
	3	未成年者の飲酒割合（男性）	4.8%	0%
	4	未成年者の飲酒割合（女性）	1.9%	
	5	妊娠中の飲酒割合	1.9%	0%
地域資源等	6	アルコール健康障がいに係る相談拠点の数	—	1箇所以上
	7	アルコール健康障がいに係る専門医療機関の数	—	1箇所以上

## (6) 歯・口腔の健康分野

### 【推進方針】

- 適切な歯科保健行動の普及
- 歯科健康診査の普及
- 歯科口腔保健体制の整備

### 【県の取組】

- 歯、口の健康の重要性や個々の状態にあった予防法等の情報を提供します。
- 関係機関と連携し、幼児、児童から高齢者まで、生涯にわたりフッ化物を使用したむし歯予防対策を推進します。
- 妊産婦、乳幼児から高齢者までの定期歯科口腔健診を推進します。
- ライフステージに応じた歯科口腔保健対策を推進します。
- 歯科口腔保健に携わるものに対する研修を実施します。
- 障がい児者、要介護者に対する歯科口腔保健体制を整備します。
- 学校と家庭と連携した「歯みがき指導」「食に関する指導」「フッ化物の活用」の3本柱のむし歯予防等、歯と口の健康づくりに取り組みます。(教育庁)

### 【関係団体の取組】

#### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 組合広報誌等で歯科定期健診の広報を行い、受診を促進します。

#### 〈大分県歯科医師会〉

- フッ化物に関する研修会を開催し、正しい知識の普及啓発に努めます。
- 8020 運動実践指導者研修会や介護保険対応歯科保健研修会、認知症対応力向上研修会等、資質向上のための研修会を充実させ参加者を増やします。
- 歯科医師に対する生涯研修制度や学校歯科医基礎研修会、更新研修会を開催し、人材育成に努めます。
- 施設訪問歯科保健事業を実施し、適切な治療を受ける機会の提供に努めます。

#### 〈大分県看護協会〉

- 摂食嚥下ケアや口腔ケア等、資質向上のための研修会を充実させ参加者を増やします。

#### 〈大分県栄養士会〉

- 要介護高齢者や障がい者等への口腔ケアを他職種と連携し推進します。

#### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- 乳幼児健診受診者にフッ素塗布や小学校でのフッ化物洗口、成人を対象に歯周疾患検診やよい歯のコンクール等に取り組み、むし歯保有率の減少に努めます。
- 教室や広報・ケーブルテレビ等にてむし歯、歯周疾患予防のための普及啓発を実施します。
- 歯科保健に関する委員会や協議会等を開催し、歯科保健対策を進めます。

〈大分県 PTA 連合会〉

- 学校と連携しフッ化物洗口の取組を実施します

〈大分県食生活改善推進協議会〉

- むし歯予防等に役立つ簡単なおやつのでき方や食べ方について啓発します。

【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
健康	1	1人あたりのむし歯本数（3歳児）	0.83本	0.8本
	2	むし歯のない者の割合（3歳児）	77.1%	80.0%
	3	1人あたりのむし歯本数（12歳児）	1.4本	1.0本
	4	むし歯のない者の割合（12歳児）	50.7%	60.0%
	5	むし歯のない者の割合（小学生）	男 35.5%	45.0%
	6		女 38.8%	
	7	むし歯のない者の割合（中学生）	男 45.8%	55.0%
	8		女 45.6%	
	9	むし歯のない者の割合（高校生）	男 41.9%	45.0%
	10		女 39.7%	
	11	60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合	77.1%	82.0%
	12	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合	55.1%	62.0%



## (7) 健康指標分野（糖尿病・循環器疾患・がん・COPD〈慢性閉塞性肺疾患〉）

### 【推進方針】

- 発症を予防するための生活習慣の改善
- 早期発見・早期治療と重症化予防
- 健康づくりを支える環境の整備

### 【県の取組】

- 禁煙、減塩、野菜摂取の増加などエビデンスの確立されている良好な生活習慣の定着に向け、各疾患に対する正しい知識の普及に努めます。
- 市町村における各疾患対策を積極的に支援します。
- おおいた糖尿病相談医等関係者が連携して支援できる体制を推進します。
- 脳血管疾患や虚血性心疾患に罹患した後も、スムーズに在宅生活を送ることができるよう地域医療連携を推進します。
- がん対策の基礎となるデータを把握するためのがん登録や検診の精度管理などがん対策を推進します。
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）の最大の発症要因は喫煙であるため、禁煙対策を積極的に推進します（喫煙分野参照）。
- 減塩や受動喫煙等に配慮し適切に飲食等ができる食事環境の整備や安全に運動ができる施設の整備等を推進します。
- 保健指導担当者や医療専門職等に対する研修の機会を提供し資質の向上を図ります。

### 【関係団体の取組】

#### 〈大分県飲食業生活衛生同業組合〉

- 健康診断の受診案内や検診の重要性等を周知し、受診率の向上に努めます。

#### 〈大分県医師会〉

- 糖尿病の予防や治療継続の重要性について「世界糖尿病デー記念講演会」を通じて啓発します。
- 精密検査が必要な方に対して、適切に受診できる環境を整えるため「がん精密検診協力医療機関研修会」を行います。
- テレビ番組「ワンポイントクリニック」を通じて、県民に分かりやすく医療情報を提供します。

#### 〈大分県歯科医師会〉

- 歯の健康に関する講演会を開催し、正しい知識の普及啓発に努めます。
- 歯科医師に対する学術講演会を開催し、人材育成に努めます。
- 歯科助手養成講習会での教育を通じて、医療スタッフへの生活習慣病対策の重要性を浸透させます。
- がん診療連携拠点病院との医科歯科連携事業を通じて取組を強化します。

#### 〈大分県薬剤師会〉

- 薬剤師会薬物療法（がん・精神・小児）認定薬剤師の研修並びに育成を行うとともに、認定者を増やします。
- 薬局店頭において普及啓発の強化に努めます。

#### 〈大分県看護協会〉

- 職員の特定健康診査受診率・精密検査受診率 100%を目指します。
- 糖尿病、循環器、がん等の最新知識等研修による看護職の教育の充実を図ります。
- まちの保健室、げんき教室での生活習慣病の広報・指導の充実を図ります。
- 地域における健康教育に専門・認定看護師を積極的に活用します。

#### 〈大分県栄養士会〉

- 生活習慣病予防重症化予防のための食事指導活動拠点（栄養ケアステーション）の整備を行い取組を充実させます。
- 新任研修会や生涯学習の開催等、資質の向上のため研修会を充実させ参加者を増やします。

#### 〈大分県市町村保健活動研究協議会〉

- 糖尿病重症化予防対策として、ハイリスク者に対して受診勧奨の徹底や医療機関と連携しながら個別保健指導を行い、糖尿病腎症による透析導入者の減少に努めます。
- 関係医療機関との協議や対象者への個別通知、未受診者への受診勧奨の実施等、特定健康診査受診率向上に努めます。
- 特定保健指導対象者への集団及び個別保健指導の実施を行い、特定保健指導利用率の増加に努めます。
- 保健所と連携して地域の事業所に健康講話等を実施し、働き盛り世代の健康づくりを推進します。

#### 〈大分県国民健康保険団体連合会〉

- 生活習慣病予防推進事業や市町村保健活動強化支援事業、調査統計・医療費分析等を実施し、保険者による保健事業の支援を継続的に行います。

#### 〈全国健康保険協会大分支部〉

- がん検診の実施及び糖尿病予防、重症化対策を行い、医療給付費の適正化を図ります。
- 特定保健指導の実施により、生活習慣病リスク保有者の減少に努めます。

#### 〈健康保険組合連合会大分県連合会〉

- 生活習慣病予防健康強調月間において、健康づくりに関するポスター等の掲示を行います。
- 特定健康診査とがん検診の同時実施により、特定保健指導該当者の減少及び被扶養者のがん検診受診率の向上に努めます。
- 糖尿病の重症化予防のため、リーフレットの配布、保健指導の実施、40歳未満の予備群への情報提供等を行い医療費の削減に努めます。

## 〈大分県食生活改善推進協議会〉

- 地域活動の中で定期健診、がん検診等の声かけを行います。
- 健康づくりに関する研修会に参加し、会員のスキルアップを図ります。

## 〈大分県生活学校運動推進協議会〉

- 家族ぐるみの健康度チェックを行い、健診受診率向上に努めます。

## 【各指標の現状と目標】

指標種別	No.	項目	現状	目標値
健康	1	糖尿病予備群の割合（国保県全体 40～59 歳男性）	10.0%	9.0%
	2	糖尿病予備群の割合（国保県全体 40～59 歳女性）	7.5%	6.0%
	3	糖尿病有病者の割合（国保県全体 40～59 歳男性）	8.9%	8.4%
	4	糖尿病有病者の割合（国保県全体 40～59 歳女性）	3.9%	3.8%
	5	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	192 人	200 人
	6	脳血管疾患・年齢調整死亡率（男性 10 万対）	34.2	27.4
	7	脳血管疾患・年齢調整死亡率（女性 10 万対）	18.8	15.0
	8	急性心筋梗塞・年齢調整死亡率（男性 10 万対）	20.7	17.1
	9	急性心筋梗塞・年齢調整死亡率（女性 10 万対）	7.5	6.2
	10	メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合（全保険者 40～59 歳男性）	35.8%	30.0%
	11	メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合（全保険者 40～59 歳女性）	8.7%	7.5%
	12	脂質異常症該当者の割合（国保県全体 40～59 歳男性）	57.1%	54.0%
	13	脂質異常症該当者の割合（国保県全体 40～59 歳女性）	41.7%	39.0%
	14	がんによる 75 歳未満年齢調整死亡率（10 万対）	70.5	57.9
	15	特定健康診査実施率	52.0%	70.0%
	16	特定保健指導実施率	22.9%	45.0%